

コメント

1.水痘

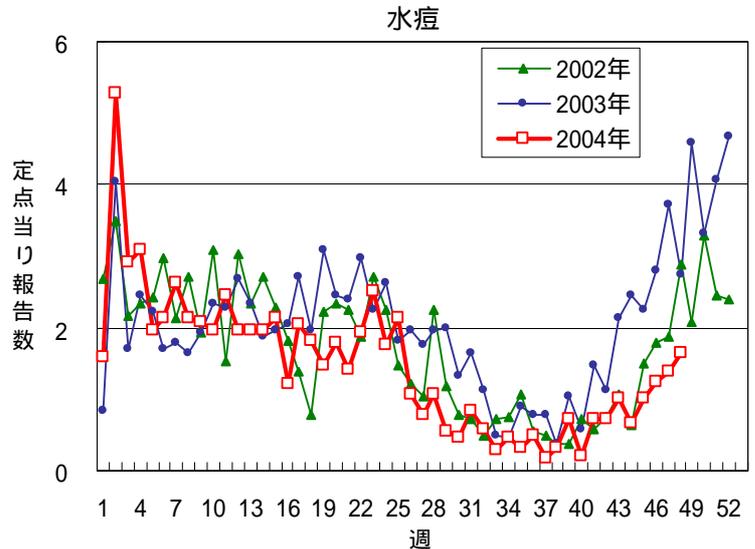
定点当り1.65人とやや増加しています。安芸区4.0人となっています。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.26人とほぼ横ばいとなっています。安芸区3.0人となっています。

3. 感染性胃腸炎

定点当り7.22人とやや減少しています。安芸区では16.0人、安佐北区11.3人となっています。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.25		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	-	-	0.14		流行性耳下腺炎	17	0.74	0.74	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.26	1.66	↗	RSウイルス感染症	9	0.39		
感染性胃腸炎	166	7.22	11.11	↘	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	38	1.65	2.52	↗	流行性角結膜炎	6	0.75	1.00	
手足口病	8	0.35	0.66		細菌性髄膜炎	-	-	0.11	
伝染性紅斑	6	0.26	0.20		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発疹	21	0.91	0.81		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.29	
百日咳	3	0.13	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	4	0.17	0.08						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 36 (小児科定点含む)
小児科定点数 23
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	つつが虫病	2	4	男性(60歳代)、男性(30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	19	男性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻しん
広島市		第44週	-	2	15	104	16	3	1	23	-	-	2	-	23	-	-	5	-	-	-	-	-
		第45週	-	2	22	129	24	8	3	17	2	-	-	-	19	-	-	6	-	1	1	-	-
		第46週	-	3	29	203	30	4	3	12	1	-	-	-	21	2	-	8	1	-	2	-	-
		第47週	1	2	33	191	33	18	4	13	2	-	3	-	28	4	-	4	1	-	3	-	-
		第48週	-	-	29	166	38	8	6	21	3	-	4	-	17	9	-	6	-	-	3	-	-
全国		第44週	-	0.08	0.63	4.33	0.67	0.13	0.04	0.96	-	-	0.08	-	0.96	-	-	0.63	-	-	-	-	-
		第45週	-	0.08	0.92	5.38	1.00	0.33	0.13	0.71	0.08	-	-	-	0.79	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
		第46週	-	0.13	1.21	8.46	1.25	0.17	0.13	0.50	0.04	-	-	-	0.88	0.08	-	1.00	0.14	-	0.29	-	-
		第47週	0.03	0.08	1.38	7.96	1.38	0.75	0.17	0.54	0.08	-	0.13	-	1.17	0.17	-	0.50	0.14	-	0.43	-	-
		第48週	-	-	1.26	7.22	1.65	0.35	0.26	0.91	0.13	-	0.17	-	0.74	0.39	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		第46週	0.05	0.15	1.10	3.86	1.16	0.92	0.16	0.68	0.02	-	0.08	-	1.10	-	0.01	0.68	0.04	0.04	0.43	0.01	-
		第47週	0.06	0.17	1.19	4.77	1.29	0.89	0.16	0.70	0.02	0.01	0.08	-	1.05	-	0.01	0.65	0.01	0.02	0.36	0.02	-

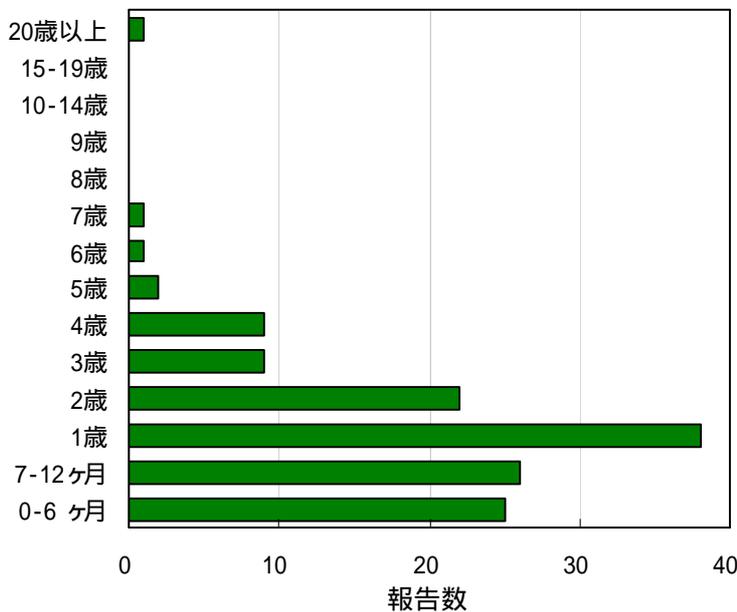
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱(疑)	0	男	2004/10/20	咽頭拭い液	パレコウイルス1型

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の年齢階層別報告数

(調査開始(2003年第46週)~2004年第48週までの累計)



RSウイルス感染症は、平成15年11月の感染症法改正により追加された疾患です。発熱、鼻汁、咳など「かぜ」の症状を伴う呼吸器系の疾患で、インフルエンザや他のかぜと同様に冬季に流行します。

大人から子どもまでかかる疾患ですが、小さい子どもほど症状が重くなる傾向にあり、特に乳幼児は気管支炎や肺炎など重症化しやすいので、注意が必要です。

広島市では、調査開始から2004年第48週までの約1年間に134人の報告がありました。2歳以下の患者が111人と83%を占めています。

接触感染や飛沫感染により感染します。これから流行する時期になりますので、注意が必要です。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第48週 (11月22日 ~ 11月28日)